施工説明書

TOTO

「日本マニュアルコンテスト2015」
紙マニュアル業務部門
「部門優良賞」「安全賞」受賞作品

B/BH

ウォシュレット® 一体形便器（便器部）

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

必ず実施

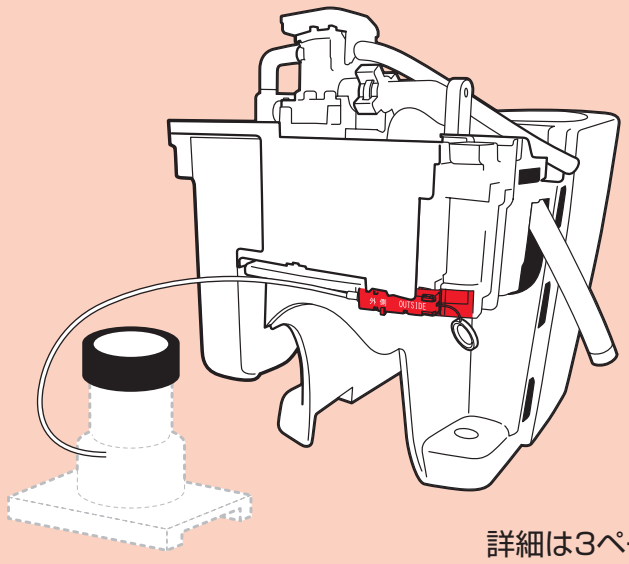
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

従来にはない施工が必要です。

排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。

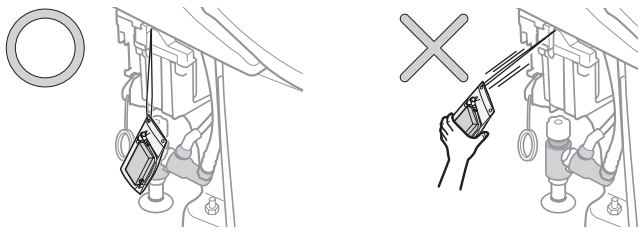
⇨ 詳細は3ページ 7 を参照ください。

従来製品からの主な注意点



詳細は3ページ 7 を参照ください。

停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

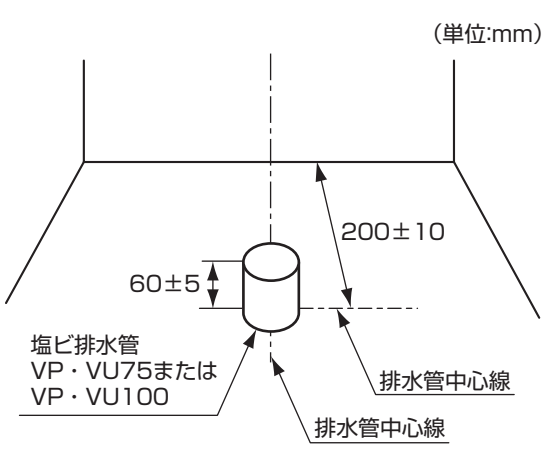
⃠	してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	❗	必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止	**便器に強い力や衝撃を与えない** 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
禁止	**給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない** 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
禁止	**止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない** 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
禁止	**浴室など湿気の多い場所に設置しない** 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
必ず実行	**設置工事は、この説明書に従って確実に行う** 故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意



⚠注意

❗ 必ず実行

排水管の立ち上げ寸法が55mm未満の場合は、立ち上げ用アダプター HH01001R(別売品)を使用する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

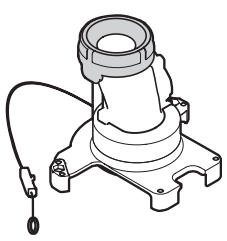
※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

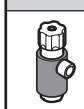
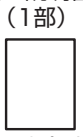
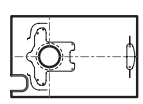
立ち上げ用アダプター(別売品)の施工方法についての動画はこちらから確認できます。
※通信料がかかります。

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。（壁が変色する原因となります）
- 後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。（棚、収納キャビネットは下端 FL＋1400mm以上を目安としてください）
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 排水管が床面と同一でカットされている場合は、60mm立ち上げ用アダプター(HH01001R)をご購入ください。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 便器（ヒーター付の場合）：電源コードの長さは、約１mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- ヒーター付便器、水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。取付方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。
- 商品セット図は、住宅＆パブリックカタログ・専用カタログをご確認ください。

同梱部品の確認 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

便器本体	排水ソケット	固定片
※電池ボックス付き(1個) 便器ヒーター用プラグ ※ヒーター付便器の場合	 排水ソケット（1個） ※ゴムジョイント 手動レバー付き	固定片（1個） 接着ブロック（1個） 木ねじ(φ5×40:2本)
すっきりパネル		
すっきりパネル(左)（1個） すっきりパネル(右)（1個）		

給水金具	固定金具類	その他
 ※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。 止水栓（1個） 分岐金具（1個） エルボ（1個） パッキン（1個） ストレート管（1個） ふさぎシート（1枚）	六角ボルト（2本） 止め金具（2個） ナット（2個） ワッシャー（2個） 木ねじ(排水ソケット用)（φ5×50:6本）	施工説明書（1部） 開閉工具（1個） ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。  説明書（1部） 水受けトレイ（寒冷地のみ：1個） ※お客様に渡してください。  位置決めシート（1部）

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。（ 　 は本紙、□ はウォシュレットの施工説明書を参照ください）

【便器の施工手順】

❶ 排水管の立ち上げ方法 ➡ ❷ 止水栓の取り付け ➡ ❸ 分岐金具の取り付け ➡ ❹ 位置決めシートで取付穴位置をけがく ➡ ❺ 排水ソケットの接着 ➡ ❻ 固定片・排水ソケットの取り付け ➡ ❼ 手動レバーの取り付け ➡ ❽ 便器の取り付け ➡ ❾ ウォシュレット本体の取り付け ➡ ❿ すっきりパネルの取り付け ➡ ⓫ 取り付け後の確認

施工手順を動画で確認できます。

※通信料がかかります。

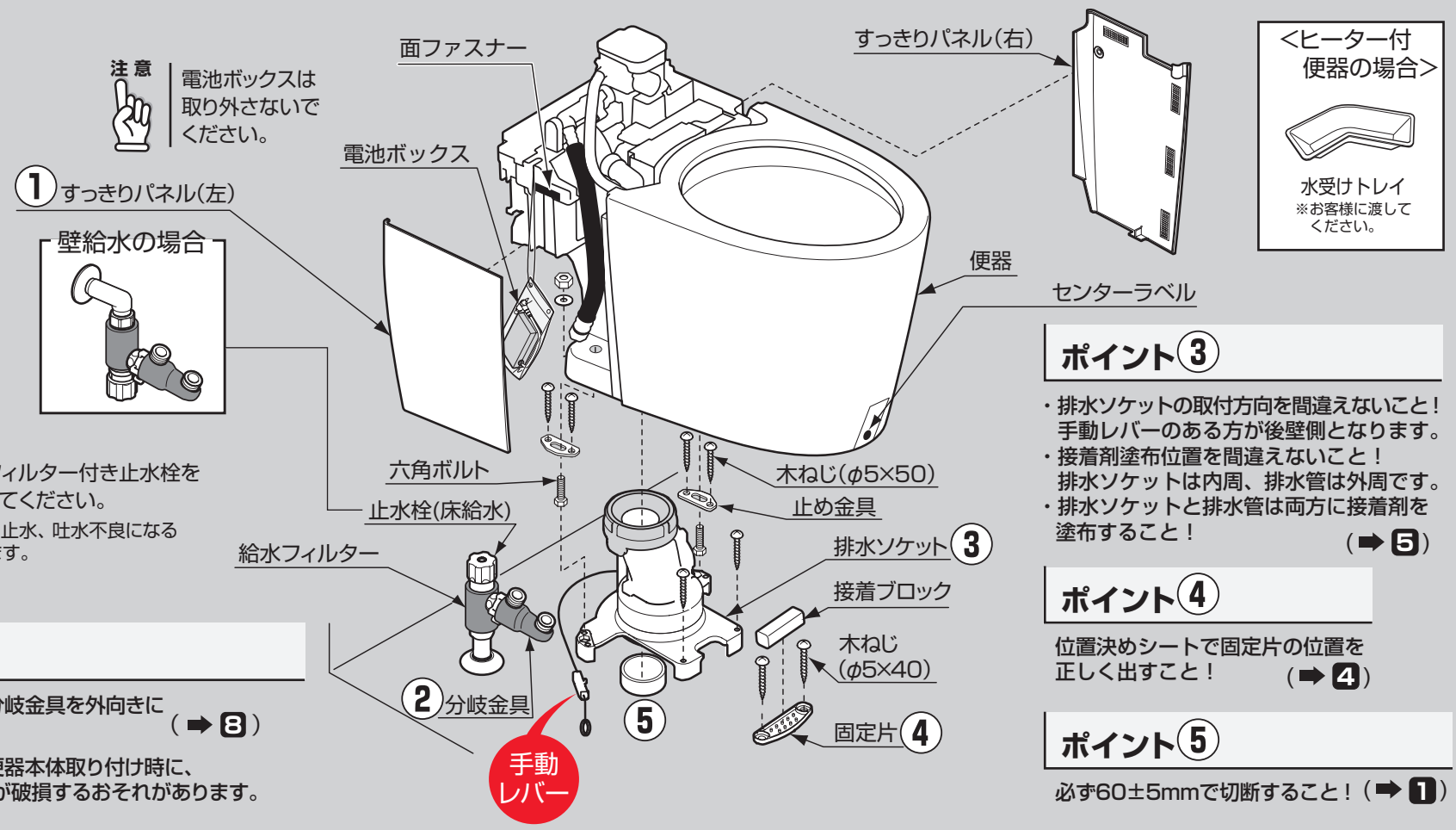
※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、4ページをご確認ください。

各部のなまえと施工のポイント

ポイント①

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！

注意 電池ボックスは取り外さないでください。



<ヒーター付便器の場合>

水受けトレイ
※お客様に渡してください。

注意 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

ポイント②

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！（➡ 8）

外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

ポイント③

・排水ソケットの取付方向を間違えないこと！手動レバーのある方が後壁側となります。
・接着剤塗布位置を間違えないこと！排水ソケットは内周、排水管は外周です。
・排水ソケットと排水管は両方に接着剤を塗布すること！（➡ 5）

ポイント④

位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと！（➡ 4）

ポイント⑤

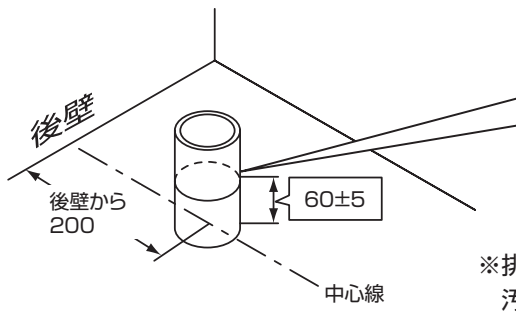
必ず60±5mmで切断すること！（➡ 1）

取付方法

❶ 排水管の立ち上げ方法

（単位:mm）

排水管を所定の位置に取り出す。



カット

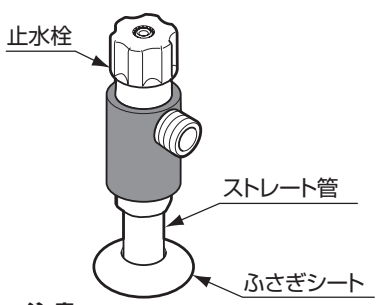
けがいて、輪ゴムなどで目安をつけるとカットしやすくなります。

※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。

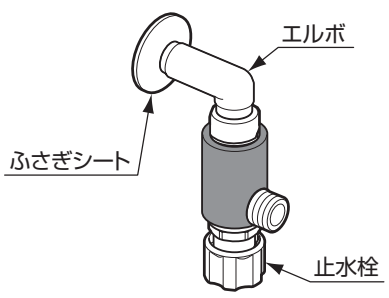
❷ 止水栓の取り付け

止水栓を所定の位置に取り付ける。

<床給水の場合>
ストレート管を使用すること。



<壁給水の場合>
エルボを使用すること。

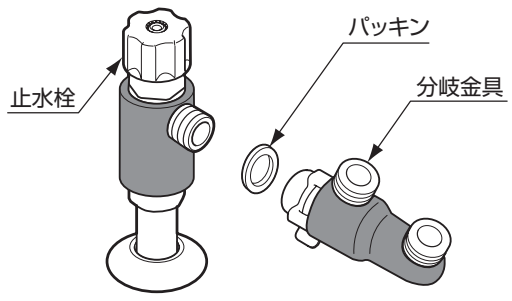


注意 **便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。**
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

・寒冷地（水抜き方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

❸ 分岐金具の取り付け

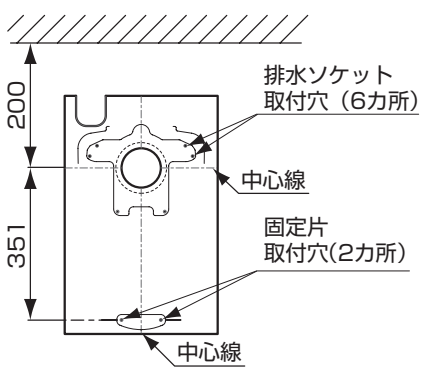
止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。

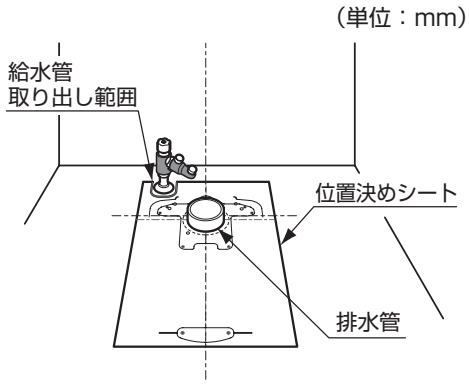


❹ 位置決めシートで取付穴位置をけがく

❶位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
❷給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
・給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
❸排水ソケット取付穴（6カ所）、固定片取付穴（2カ所）をけがく。
❹けがいた取付穴にφ3程度の下穴をあける。
・φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

（単位：mm）





裏面につづく➡

取付方法

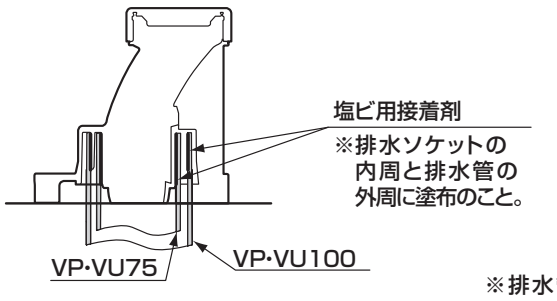
5 排水ソケットの接着

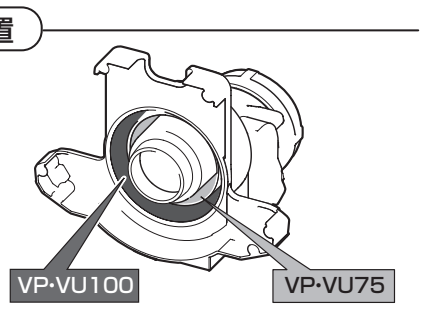
❶4でけがいた位置に排水ソケットを置き、前後を確認する。

❷排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗る。

❸中心線にあわせ、排水ソケットが床面につくまで排水管に押し込む。
・押し込む際、手動レバーを挟まないようにご注意ください。

接着材塗布位置





※排水管の種類によって塗布位置が異なります。

⚠注意

必ず実行

接着剤塗布位置を確認する
塗付位置を間違えると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

排水ソケットは下面が床面につくまで押し込む
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

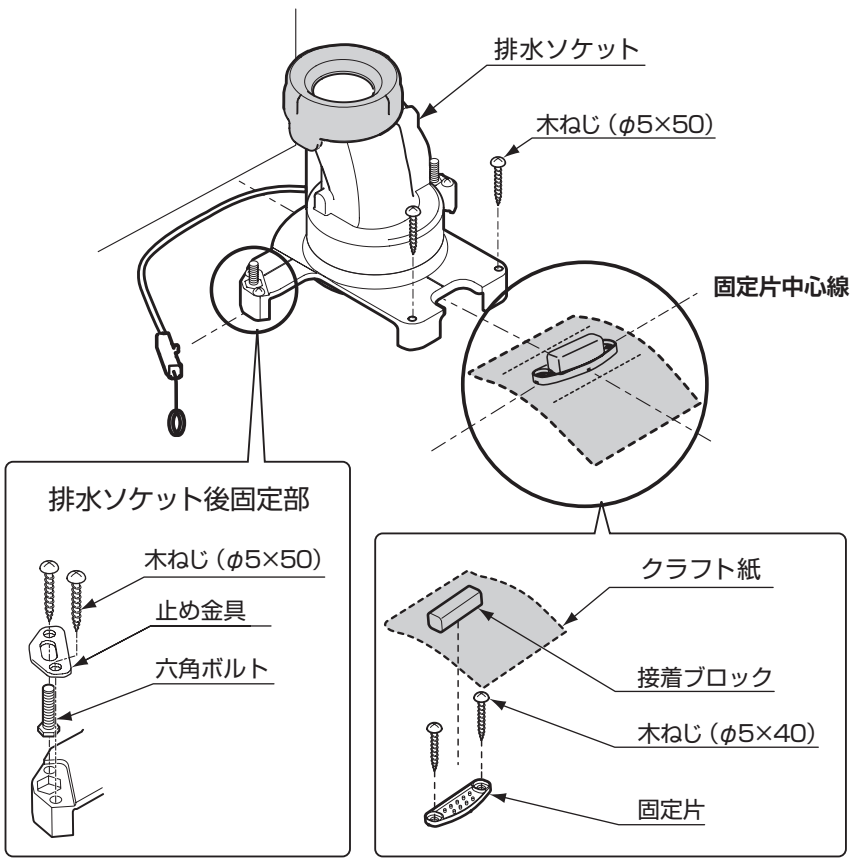
注意
一度接着すると、手直しができませんので
ご注意ください。

6 固定片･排水ソケットの取り付け

❶排水ソケット後固定部（2カ所）に六角ボルトを立て、
止め金具を通したうえで、木ねじで床（4カ所）に固定する。

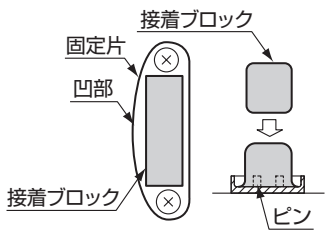
注意
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

❷排水ソケット前側（2カ所）を、木ねじで床に固定する。
❸固定片を中心線にあわせて、木ねじで床（2カ所）に固定する。
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
❹接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、
指で軽く押す。



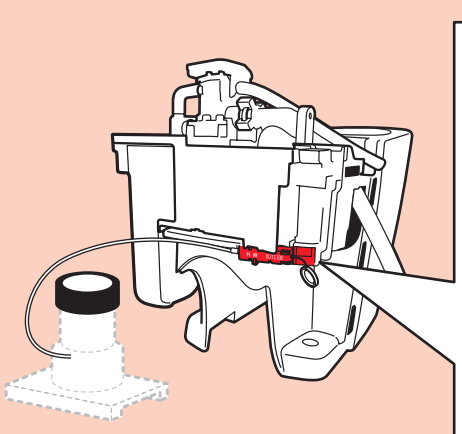
<接着ブロックについて>

・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
・接着ブロックの方向性は特にありません。
・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。
このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。
・詳細は、接着ブロック同梱の注意書を参照してください。

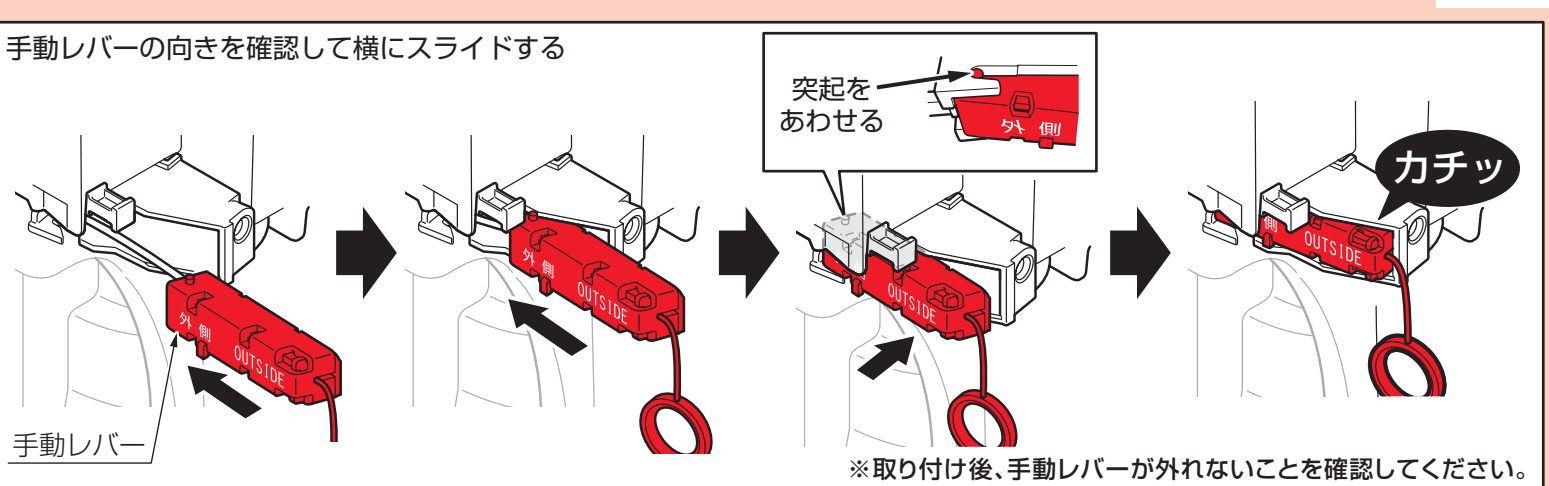


7 手動レバーの取り付け ➡ 8 便器の取り付け

動画はこちら ➡
※通信料がかかります。



手動レバーの向きを確認して横にスライドする



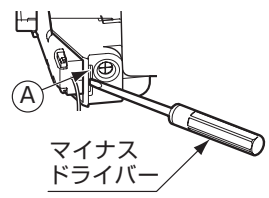
※取り付け後、手動レバーが外れないことを確認してください。

電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

電子音が鳴る
ランプがすべて点滅
➡ **①電源プラグを抜く** ➡ **②7に従って手動レバーを取り付ける** ➡ **③電源プラグを差し込む** ➡ **電子音が止まり、ランプがすべて点滅していないことを確認する**

手動レバーの取り外し

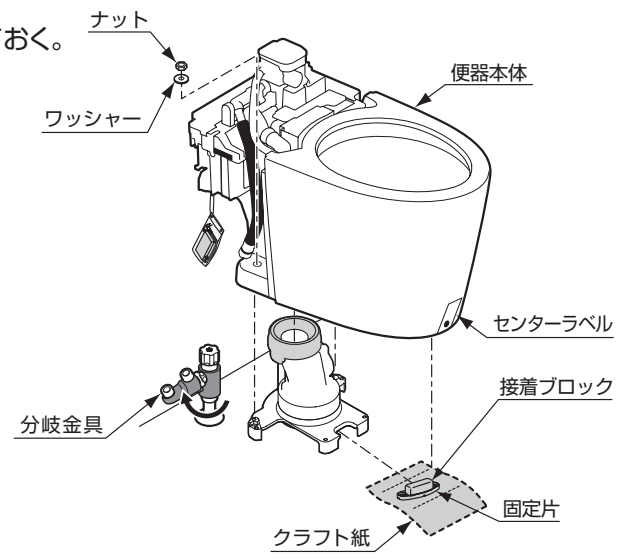
マイナスドライバーなどを図Ⓐに挿入し、ロックを解除して取り外してください。



取付方法

8 便器の取り付け

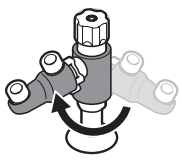
❶分岐金具を外向きに回転させておく。
（便器に干渉しないように）



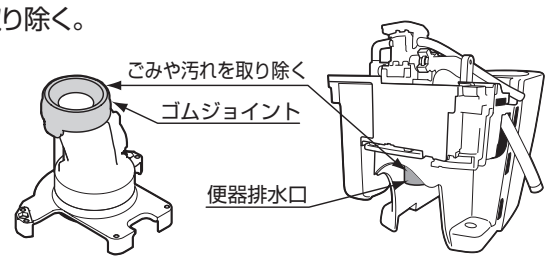
注意

便器を取り付ける際は、
分岐金具を外向きに回転
させておいてください。

外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



❷便器排水口および排水ソケットの接続部周辺の
ごみや汚れを取り除く。



❸便器排水口を排水ソケットに差し込む。
- ・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。
- ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

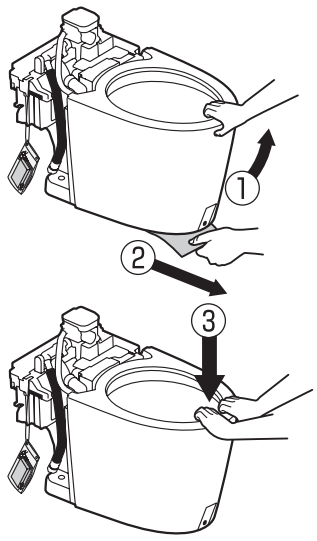
ポイント

目安として 壁から10～15mm を
目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように差し込んでください。

❹センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

❺便器先端を少し持ち上げ、
固定片の上のクラフト紙を引き抜く。

❻接着ブロックがつぶれるまで、便器を
しっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

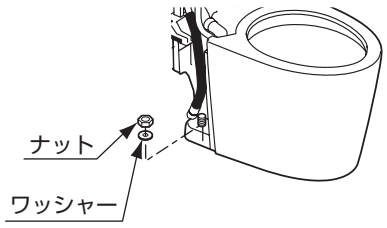
センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。

便器が床につくまでしっかり
押さえてください。

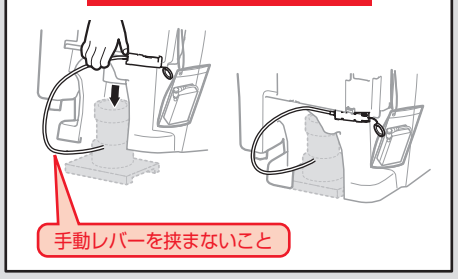
❼便器の取付穴（2カ所）をナット、ワッシャーで固定する。

注意

ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を
割らないように注意してください。



手動レバーの取り回しかた



※手動レバーを引っ張ったり、
便器に挟まないようにしてください。

便器の持ちかた

注意

機能部を持つと
破損するおそれ
があります。

9 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を
参照してください。

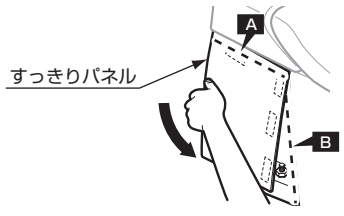
❶ウォシュレット本体を取り付ける。

❷便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。

❸手動レバーの動作を確認する。
- ・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

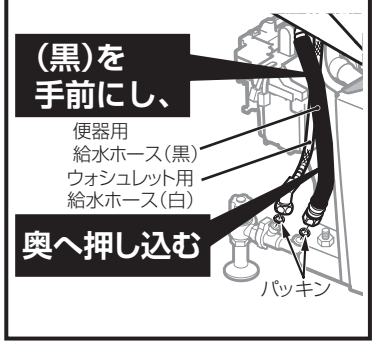
10 すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間が目立たないように取り付ける。



- ・面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、すっきりパネルが外れないことを確認してください。
- ・すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、右図を参考に給水ホースの接続方法を確認してください。詳細は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

給水ホース接続方法



11 取り付け後の確認

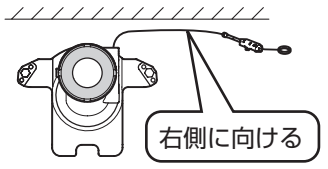
- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。
便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

大便器背面カバー（別売品）の取り付け

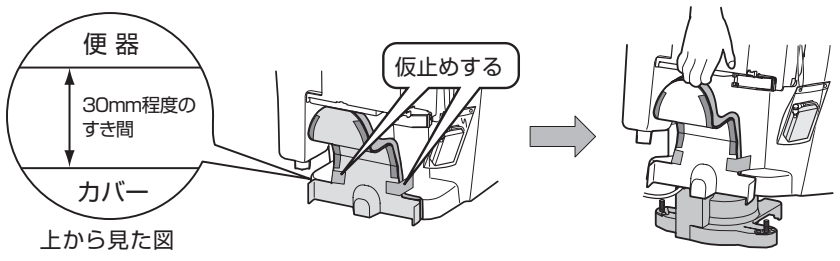
※取り付けが必要な場合のみご確認ください。

❶大便器背面カバー同梱の施工説明書に従って①～②まで作業する。

❷固定した排水ソケットの手動レバーを
右側に向ける。

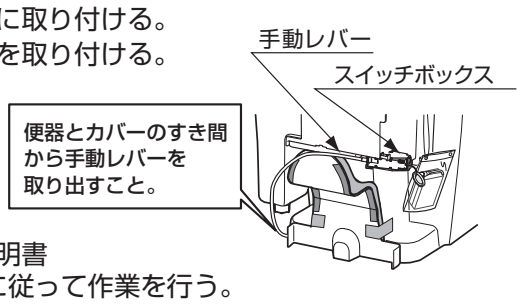


❸カバーを仮止めしたまま、
便器排水口を排水ソケットに差し込む。
- ・仮止めの際、手動レバーを通すために便器とカバーのすき間を30mm程度あける。

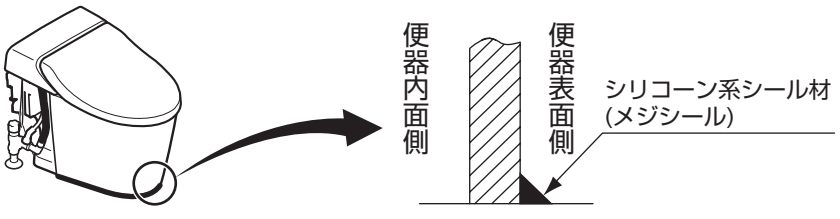


上から見た図

❹手動レバーをスイッチボックスに取り付ける。
❺すき間がなくなるようにカバーを取り付ける。



❻大便器背面カバー同梱の施工説明書
「便器の取り付け（つづき）」に従って作業を行う。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、
こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、
床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に
防カビ性のシリコーン系シール材(メジシール)を塗布することをおすすめいたします。